

山形森林管理署 もがみ支署通信

登山シーズン到来！山開きに参加しました

最上地域にも登山シーズンが訪れました。6月3日には、修験者の山岳修行の地として知られている男甑山、女甑山の「甑山山開き」(主催:真室川町、同町教育委員会、同町観光物産協会)が開催されました。

今年の登山シーズンの安全を祈願した神事、井上町長挨拶の後、参加者が2班に分かれて甑山を目指す登山と大カツラ周辺を散策するトレッキングを行いました。

途中、林野庁の「森の巨人たち 100選」にも選定されている「女甑の大カツラ」において、町の伝統芸能である番楽奉納(釜淵番楽保存会)が行われ、参加者は一日、新緑のブナ林や、大自然の中での伝承文化を楽しんでいました。



ブナの新緑が鮮やかです



「女甑の大カツラ」をバックに



釜淵番楽の奉納



登山口そばには「大清水」も
(「里の名水・やまがた百選」選定)



幻想的な霧のブナ林を散策



途中、案内人による詳細な説明も



与蔵沼で休憩



まぼろしの滝群 (大滝)

まぼろしの滝トレッキングに参加しました！

6月4日、鮭川村観光協会、羽根沢温泉旅館組合主催(最上支署等後援)による「まぼろしの滝・与蔵の森トレッキング」に参加しました。地元鮭川村をはじめ県内外から参加した約100名が、与蔵峠付近のブナ林や与蔵沼、平成5年に地図上にない滝として発見されたまぼろしの滝群などを巡りました。

最上支署からは3名が参加し、トレッキングの案内役や参加者の安全確保などでイベントを支援しました

当日は、あいにくの雨模様でしたが、霧に煙るブナ林や、ブナの幹を雨水が流れる樹幹流(じゅかんりゅう)という現象など、雨の日ならではの光景も見ることができ、参加者は思い思いに鮭川村の自然を堪能していました。

「ふるさと山の会」の植樹祭が開催されました

6月4日、真室川町大沢地区の民有林において、ふるさと山の会が主催する植樹祭が開催されました。この植樹祭は、今年で7回目をかぞえ、町内外から45名が参加し、オオヤマザクラ25本を参加者が力をあわせながら植えました。最上支署からは2名が参加し、植樹のお手伝いをしました。初めて植樹する参加者もあり、植付畝の使い方に悪戦苦闘しながら、1本1本丁寧に植え付けしていました。

参加者からは、「普段、自然に関わる機会が少なく、本日の植樹祭が自然への関心を深めるいい機会となった」という声も聞かれていました。



植樹指導の様子



一生懸命、穴を掘りました



力をあわせて植樹しました



植樹を行ったオオヤマザクラ



山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11



国民の森林・国有林